

潤い豊かな未来のために



徳富ダム  
tokutomi dam





## 事業の概要

徳富ダムは、徳富川総合開発の一環として石狩川水系徳富川の北海道樺戸郡新十津川町北幌加地先に多目的ダムとして建設するものです。

ダムは、重力式コンクリートダムで、高さ78.4m、総貯水容量36,100,000m<sup>3</sup>、有効貯水容量33,500,000m<sup>3</sup>。洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水および水道水の供給を目的としています。

## 徳富ダムの4つの機能

### 1 洪水調節

大雨や春先の急激な雪解けなどによる増水に対し、水流の量を調節して下流域の洪水を防ぎます。

▼昭和50年8月の洪水



▼昭和56年8月の洪水



### 2 流水の正常な機能の維持

ダム地点から下流の既得用水の補給や、流水の正常な機能の維持と増進をはかります。



# 3

## 農業用水

国営土地改良事業榊戸地区のうち、水田6,404ha、畑288haの農地に対して、農業用水を補給します。



# 4

## 水道用水

西空知広域水道事業団を通じ、新十津川町、雨竜町、浦臼町に飲料水を補給します。



# ダム概要

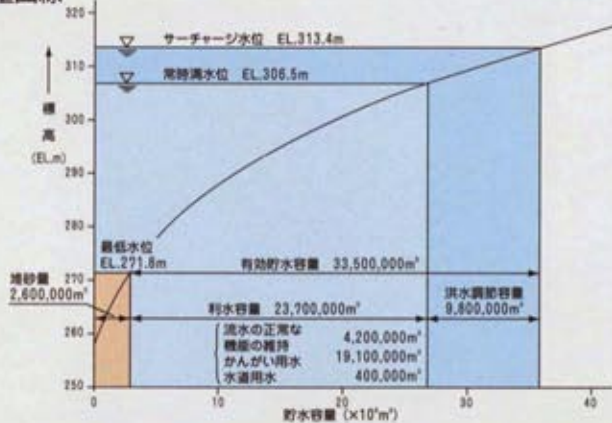
●洪水調節図



●計画流量配分図 (単位: m³/S)



●貯水位 容量曲線

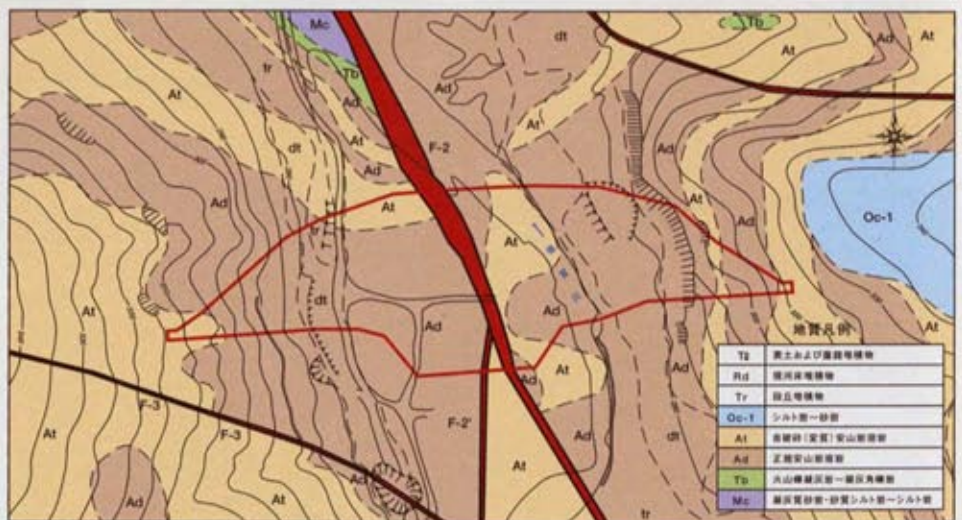


●貯水池容量配分図



# ダムサイトの地質

ダムサイトの地質は、基盤となっているのが新第三紀中新世の増毛層(凝灰質砂岩～シルト岩)及び、鮮新世の徳富川溶岩集塊岩層(安山岩溶岩、安山岩質自破碎溶岩)です。これらを第四紀の段丘堆積物、現河床堆積物、崖錐堆積物が覆っています。



▲ダム地質平面図

